

九鬼嘉隆の墓

この二か所の墓地には、1600 年の関ヶ原の戦いの後切腹を遂げた水軍の武将、九鬼嘉隆の遺体が埋葬されています。当時の慣習に従い、切断された頭部は検分のために將軍徳川家康のところに運ばれました。その頭部は家族に返された後、九鬼が愛した鳥羽城が見える場所に、胴体とは別に埋葬されました。片方からもう一方まで歩いて行ける距離にある二つの墓標は、答志島港から目と鼻の先の木々が茂る丘の上にあります。